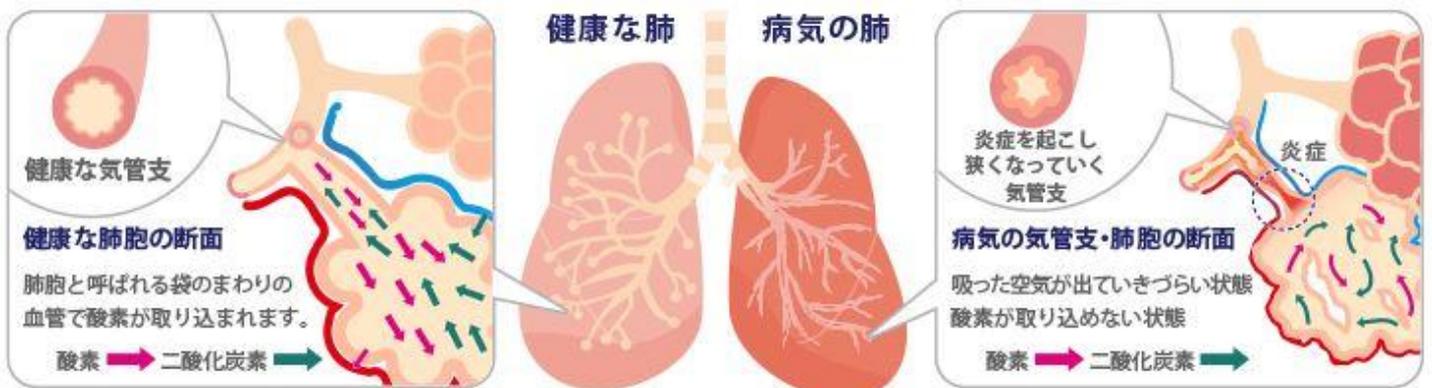


週刊 タバコの正体

タバコを吸い続けると喫煙者の身体は確実にダメージを受けます。例えば、吸い込んだ有害物質を大量に含んだ煙が行き渡る肺が病気なるのは誰でも予想できます。下図のように健康な肺(左側)の気管支や肺胞に比べ、病気の肺(右側)の気管支は炎症をおこし狭くなり空気の流れが悪くなる上、肺胞が壊れて、しっかり酸素を取り込めなくなってしまいます。このような肺の病気は総称して「COPD」(慢性閉塞性肺疾患)と呼ばれています。



小林製薬(株)清肺湯 Navi サイトから

タバコを吸っている
(過去に吸っていた)

階段を上ただけで
息が切れる

せきやたん
が長引く



公益財団法人結核予防会HPから

この病気になる人のほとんどは喫煙者なので、COPDは別名タバコ病とも言われていて、左図のように「階段で息が切れる」、「せきやたんが長引く」などの症状がでできます。

そして、下図のようにCOPDの患者とその可能性がある人を合わせると500万人以上いると推計され、世界の死亡原因の上位になると予想されています。

タバコさえ吸わなければ、かからない病気になる人がこんなに大勢いる事を知っておいて下さい。

産業デザイン科
奥田 恭久

